

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2024年12月25日

保護者アンケート回収率 67.0%(保護者の評価欄は回収分で占める割合です)

事業所名: すまいる・きつず松陽

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	定員10名に対し、各活動ごとに配置を決めて安全に取り組めるように配慮しています。	はい…81% どちらともいえない…13% わからない…6%	限られた空間を使い、感染対策を徹底し密にならないように対応していきます。人との適切な距離感も確認していきます。
	2 職員の適切な配置	基準に基づいた人員配置をし、安全に過ごせるようにしています。	はい…88% どちらともいえない…6% わからない…6%	全職員でミーティング時に利用児童の状況の確認を行い担当を決め、安全に過ごせるように声を掛け合いながら様々な変化に対応出来るようにしています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所の設置環境上、3階までの往復については、訓練の一環であったり、ルールやマナーを学ぶ場面の一部として捉えて子ども達の行動を促しています。情報伝達については、視覚的支援等を取り入れながら児童の特性に合わせて対応策を模索しながら取り組んでいます。	はい…81% どちらともいえない…9% ・エレベーターがないからバリアフリーかどうか… ・階段	子ども達の安全に配慮しながら利用しやすい環境づくりに継続して取り組んでいきます。階段を使う事で、順番を守る・ゆっくり降りるなどルールを確認しています。また、体幹や体力作りにも活用しています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	事業所内の物品整理を行い、衛生的に管理しやすい工夫や業務マニュアルを活用し、作業漏れのないようにチェックリストも整備しました。また、送迎車の使用後の換気・消毒作業を徹底して取り組んでいます。そして、来所時の手洗いやおやつ後の片づけ等についても児童と共に、衛生習慣が身に着くように促しています。	はい…100%	今後も引き続き、環境整備や感染症対策に心がけ、清潔で心地よい生活空間の確保に努めていきます。室内の温度管理は、温度計で確認しています。寒い・暑い時の服の調整を上手に行えるようにしています。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々のミーティング、振り返り、毎月のスタッフ会議等を通して業務の見直し、改善を行っています。いつでも全職員が意見交換出来る環境づくりを心がけています。		職員一人ひとりに役割分担し、業務改善を行いながら会議の充実にも努め、職員間で積極的な意見が出るような環境づくりに努めていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価や県の実地指導を受け、指導していただいたことを基に日々の業務改善を行っています。		今後も第三者評価を受けながら業務改善に努めていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の事業所内研修に加え、インターネットを活用した研修にも積極的に参加しています。今年度は、外部研修にも各職員受講しています。		計画的に事業所内研修を行っていきます。また、外部研修の情報収集も行いながら、積極的に参加し、学習した事を、事業所で報告・共有し、OJT研修も行っています。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時には、アセスメントを行い、モニタリングを繰り返しながら、児童と保護者のニーズを確認し、日々の支援の中から見えてきた課題を分析しています。そして、放課後等デイサービス計画の作成を行っています。	はい…100% ・わかりやすい	今後もアセスメントとモニタリングを行い、児童と保護者のニーズを確認しながら、日々の支援の中から見えてきた課題を分析し、放課後等デイサービス計画の作成をしていきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じた個別・集団活動を組み合わせ支援を実施していきます。	はい…100%	今後も子ども達の成長や様子を考慮しながら活動を展開していきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	発達支援・家族支援・地域連携など大項目を決め、それぞれに具体的な目標を設定し、支援内容や留意項目・支援機関などを記載しています。	はい…100%	今後も継続して行っています。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	放課後等デイサービス計画に沿った支援が出来るよう、ミーティング時に利用児童の支援内容を確認し、振り返りでその日の児童の様子を報告し、次回利用日の対応に備えていきます。	はい…100%	今後も普段のミーティングを充実させて子ども達の様子を観察・分析しながら関わり、適切な支援に繋げていきます。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	スタッフ会議を通して事前に担当を決め、計画を立案しています。具体的な取り組みについては、日々のミーティングを通して行っています。	はい…94% わからない…6%	年間計画に合わせて、担当者を決めスタッフ会議などで準備を行いながら意見を出し合い計画していきます。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日・休日・長期休暇では、サービス提供時間が異なります。長期休暇中は、児童の目標に合わせてながら、平日の時間では経験出来ないことに積極的に取り組むようにしています。天候が良い時には、戸外での活動や近隣の社会資源を利用することや、事業所内でも皆で準備段階から児童と共に取り組むようにしています。		今後も、平日、休業日の時間に合わせたプログラムを立案していきます。また、長期休暇には、外出や体験プログラムを取り入れ経験値・社会生活スキルの向上に努めています。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動が固定化しないよう、計画的にプログラムを実施していますが、同じことを繰り返すことと見えてくる子ども達の成長の部分と発達に応じた活動の展開を考えています。	はい…94% わからない…6% ・感心している。	今後も、プログラムが固定化しないよう、様々なプログラムを取り入れていきます。また、子ども達と活動内容の意見を出し合い準備から行っています。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前までに職員全体でミーティングを行っています。活動ごとの取り組み内容や担当の確認、児童に対する関わり方の注意点など最近の利用状況を確認しながら指導員リーダーを中心に進めています。		今後も継続して行なっていきます。
9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	毎日振り返りで、児童・指導員の良かったこと・改善点・ヒヤリハットなどを話し合う時間を設けています。その日の児童の様子、指導員の動き等全職員で声を出し合っています。また、そのことを日報に記載し、勤務者以外にも伝わるようにしています。送迎時の保護者から伺った内容の報告もこの場で、情報共有するようにしています。		今後も継続して行なっていきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	通所日には、必ず個別記録表(フローシート)に記録しています。振り返りを通して記録者が見えていない部分を補いながら正確な記録になるように心がけています。その内容を基にモニタリングやケース会議を行い、支援の検討を行っています。		様々な場面で子ども達の様子を観察し、気付いたことを話し合えるような職員関係が保てるようにしていきます。
	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月ごとに個別記録表(フローシート)を基にまとめたモニタリング内容を保護者に説明しています。その際に、ご家庭や学校での様子を伺い、ご本人の成長や課題、ニーズについての聞き取りを行い、計画に盛り込んでいます。		今後も継続して放課後等デイサービス計画の見直しを定期的に行っていきます。また、期間内でも児童の状況の変化などによって支援内容の変更が必要な場合には随時見直しをしていきます。
関係機関との連携	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	積極的にサービス担当者会議に参加し、知れた情報を事業所内に持ち替えるように努力しています。		今後も継続して、サービス担当者会議には参加し、児童、保護者の状況を把握し、学校や相談支援専門員・関連事業所などと連携をしながら統一した支援が出来るようになっていきます。
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間の支援内容等の十分な情報共有			
	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	保護者等の要望に応じて積極的に情報提供する体制を整えています。		ニーズに応じて積極的に対応していきます。
	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	自立支援協議会等に参加し、関係機関との連携に努めています。研修に関しては、情報収集に努め、積極的に専門機関での研修を受講していきます。		今後も継続して自立支援協議会へ参加し、関連機関との連携を行っていきます。また、研修情報の収集と職員への情報提供に努め研修の受講の促進を行っていきます。
	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状では、交流する機会はもっていません。近隣の買い物や散歩の機会には、積極的に挨拶をするなど、地域の方々と交流する機会としています。公共のルールを伝えています。	はい…40% どちらともいえない…20% いいえ…10% わからない…30% ・ありますか?・わからない。	今後は児童や保護者のニーズを確認しながら検討していきます。
	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍の為、地域との交流が少なくなっていますが、10月のハロウィンでは、事業所のあるビル内のテナントを周り、おやつを頂くなど、交流の機会となりました。また、ユアアイ帆つとセンター一壁面制作を展示して頂いたり、自立支援協議会主催行事や高砂万灯祭への作品展示など積極的に地域と交流できるような働きかけをしています。		地域に開かれた事業所となるように積極的に地域行事等に参加できるようにしていきます。
保護者への説明・連携支援	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容や料金負担額については、重要事項説明書に記載し、契約時に読み合わせを行い説明しています。また、行事等で自己負担が発生する場合は、事前に保護者に連絡するようにしています。その他、保護者からの問い合わせについては、その都度丁寧に対応するように心がけています。	はい…100%	今後も継続して丁寧な対応を行っていきます。
	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6か月ごとに行っているモニタリング・支援計画の面談時に説明を行っています。	はい…100%	今後も継続して丁寧な対応を行っていきます。
	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	日頃の連絡帳や送迎時、または、面談時に保護者の子育ての悩み事や児童の課題を整理しながら、関わり方を共に考えていくようにしています。また、事業所での関わり方を伝えながら助言させて頂いています。又保護者会等で講師を招く等、学習会を実施しております。	はい…70% どちらともいえない…20% わからない…10% ・プログラム? 必要性がない子かな…	今後も継続して実施していきます。また、学習会も継続して計画し、保護者も職員も共にスキルアップし児童を支える力が身につくようにしていきます。
	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳を通して家庭や学校での様子を把握し、事業所での関わり方や様子を伝え共通理解できるように努めています。また、緊急時には、電話連絡での対応しています。	はい…100%	今後も継続して保護者と共通理解できるように取り組んでいきます。
	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や連絡帳、面談の機会に実施しています。相談事項など保護者からの情報を全職員で共有できるように振り返り時に報告し、適切な対応を相談しています。また、必要に応じて学校や相談支援専門員、関連事業所と連携し対応できるようにしています。	はい…94% わからない…6% ・定期的とはどれぐらい?	6か月に1回は面談を行っていますが、それ以外で支援計画の見直しが必要な場合は、期間の調整をします。今後も保護者の思いに寄り添い丁寧な対応に努めていきます。
	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	今年度は、7月に保護者会と学習会(保護者向け)相談を開催しました。	はい…82% どちらともいえない…6% いいえ…6% わからない…6% ・参加出来ていない為 ・会は、行って下さっているが忙しく参加した事がない	今後は新型コロナウイルス感染状況を鑑みながら、保護者同士の連携が深められるよう、開催方法を模索し支援していきます。
	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情対応マニュアルに沿って迅速かつ適切に対応しています。また、定期的に職員研修を行い、職員にも周知しています。	はい…88% どちらともいえない…6% いいえ…6% わからない…6% ・特に苦情の機会がないので不明です。	今後も対応体制を整備し、契約時だけでなく保護者会等で周知出来るようにしていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言葉での支援に加え、視覚的支援等を使い具体的に伝え、共に行動し同じ体験をしながら意思の疎通を行い情報伝達に繋がっています。保護者については、送迎時の会話や連絡帳、電話でのやり取りなどを通して情報伝達を行っています。	はい…88% どちらともいえない…6% わからない…6%	今後も継続して取り組んでいきます。また、グループLINEも活用し、情報伝達ができるよう配慮していきます。
	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回のお便りで文章だけではなく、写真を載せ活動の様子や行事予定等お知らせしています。	はい…94% どちらともいえない…6% 写真等、盛りだくさん。活動自体はわかりやすい。小さく写っているのが我が子を探すが…。	今後も継続して取り組んでいきます。また、将来的にはICT化も視野に入れ検討していきます。
	個人情報の取扱いに対する十分な対応	事業所建物の施錠・書庫の施錠を厳重に取り扱っています。また、取り扱いについては、契約時に説明し、書面でも同意を頂くようにしております。また、写真の取り扱いについても、事前に同意頂くようにしております。	はい…90% どちらともいえない…20%	今後も個人情報の取り扱いには、十分に配慮し対応していきます。
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは策定済みです。職員研修を実施し周知を行っています。保護者に対しては、契約時、保護者会の際に子どもの安心・安全マニュアルを配布し確認出来るようにしています。	はい…100%	今後も継続して周知徹底に取り組んでいきます。また、社会情勢に応じ都度マニュアルを見直し、周知出来るよう取り組んでいきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	今年度も年2回避難訓練(火災・地震)を行いました。長期休暇には、ハザードマップの確認の為、子ども達と実際に避難経路を歩いて確認を行いました。また夏休みには、児童と職員で加古川防災センターに行き、地震体験・煙避難体験・消火体験をし、災害時の身の守り方などを学びました。	はい…100%	今後も様々な災害に対応出来るよう、多様な災害を想定し訓練を実施していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機種の確保等の適切な対応	事業所内外での研修に積極的に参加し、日々の振り返り等でも各職員の対応に関して全職員で振り返りながら意見を出し合うようにしています。虐待チェックリストや職員ストレスチェックも年2回全職員が実施しています。		今後も継続して虐待防止研修を実施・参加し、全職員で意識をもって適切な対応が出来るよう取り組んでいきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ケース会議等で事例を検討し、やむを得ず身体拘束を行う際には、保護者に十分に説明をし了承を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載するようになっています。		今後も身体拘束の必要性を慎重にケース会議で検討・見直しを行いながら丁寧に取り組んでいきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時のアセスメントや放課後等デイサービス計画の面談時に、アレルギーの有無や対応方法を確認しています。その後、個別の緊急対応マニュアルを作成し、保護者確認のうえ職員に周知徹底しております。保護者を通じて医師の指示を把握し、適切に対応出来るよう努めています。		今後も保護者と情報共有しながら、個別の緊急対応マニュアルを更新するなど、安心して通所できるよう対応していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	日々の振り返りで、職員全体で状況の把握と分析を行い、改善策を考えるようにしています。その都度事例集にまとめ、社内研修を行い日々の支援に繋がっています。		今後も安心安全に通所できるよう、ヒヤリハット事例集を更新し取り組んでいきます。
満足度	1 子どもは通所を楽しみにしているか	放課後の過ごし方として、楽しい時間を過ごせるようにしています。事業所の活動を通して、自分の気持ちを素直に表現出来る、相手の気持ちに気づけるなどコミュニケーションスキルの向上を目標に日々の活動を展開しています。苦手なことや気持ちが向かない時は、休憩などワンクッション入れる事で気持ちを切り替えてから活動に参加出来るようにしています。	はい…90% どちらともいえない…10% 切り替えが難しい難しく、なかなか気が進まない…行くと楽しんで帰って来てくれるのですが。	今後も活動プログラムを工夫し、安心して楽しい放課後を過ごせるよう取り組んでいきます。
	2 事業所の支援に満足しているか	毎日のミーティングや振り返りを通して児童の様子を職員同士で意見を出し合い、発達特性を理解し統一した支援が行えるように努めています。また、保護者との情報共有も連絡帳等を利用し行うようにしています。	はい…94% どちらともいえない…6%	今後も一人一人の発達特性を理解し、より良い支援策を追求し、統一した支援を継続していきます。